

「キリスト教学校教育」2026年3月号 特集『平和教育の実践』加盟学校アンケート 回答一覧(5)

6、平和教育の実践に関するご意見を自由にお書きください

- ◇小学校では、平和について考えるということがとても難しいことです。それは、小学生は生活経験がまだ十分ではなく、自分の考えというより、周囲の情報（教師が提示した情報も含め）に寄ってしまうことが多くあり、自分で考えるというところまでに及ばないことが多いからです。 (小学校)
- ◇・他のミッションスクールと平和教育の実践を交流し、共有したいと思う。
・全国のミッションスクールが、時を同じくして祈る時を持つ。 (小学校)
- ◇キリスト教主義学校における平和授業の取り組みについて教職員が学ぶ機会を作って欲しいです。(研修会補助などが使える形で) (高等学校)
- ◇「平和教育」の内容はとても幅広いと思います。貧困・格差・差別・環境破壊などの問題に関心を持ち、取り組むことも「平和教育」に含まれると考えます。私は歴史の教員として、歴史教育も平和教育の一環であると意識しています。例えば近代史上の戦争について、戦争を避け得た選択を歴史の中に見出してゆくことも平和教育の一環であると思います。 (中高)
- ◇平和や人権を前向きに語る事が難しい（または難しいと感じてしまう）社会状況や国際情勢が生じています。それでも堂々と平和や人権を語る事ができるのは、キリスト教を基盤にしており、建学の精神にそれを掲げているからです。キリスト教学校の教育が社会から信頼・支持されることが極めて重要と肝に銘じています。キリスト教学校が力と支持を失うことは、よりよい社会を目指す理想と力の退潮であると考えます。 (高等学校)
- ◇日本の平和主義が維持できなくなる可能性があることを懸念しています。 (中高)
- ◇平和教育はいつの時代でも大事ですが、今こそ、真剣に取り組まなくてはならないと考えます。「過去の事実を学ぶこと」を、これからの未来の平和に生徒たちが活かせるようにするには、どのような工夫ができるのかが難しいと感じます。
生徒たちの視野を広げる取り組みを続けなくてはならないと思っています。 (中高)
- ◇ますます混迷の深める時代にあって、キリスト教学校の役割は重要であると思います。生徒たちが将来、「平和を造り出す者」になるために、対話をしていくことがこれからも大切だと思います。 (中高)

◇他校の現状も知り合って、良いつながりが出来れば幸いです。 (高等学校)

◇本校では3年間を通して研修旅行などの平和学習を実施しているが、同時に、毎日の寮生活を通して「他者と共に生きる」ことの難しさ・喜びに出会うことが、本当の意味での「平和学習」になっていると感じている。 (高等学校)

◇聖書に書いていること、つまり主イエスの教えを徹底するしかないと思います。 (大学・短期大学)

◇回答中に見出された特徴的あるいは先駆的取り組みを記事にして紹介してほしい。 (大学・短期大学)

◇外国人に対する若者の排他主義は危険な方向に行く可能性があり、将来の平和教育を困難にするものですので、排他的な主張を信じてしまう学生の心理も理解しながら（将来に希望が持てない、抑圧されていると感じる）、対応を急がなくてはならないと思います。学生の中には、「自分のことだけで精いっぱいなのに、他人のことなんて構ってられない」という人もいます。そういう人に、どのように「人間は、自分だけのために生きようと思うと、つらいことがたくさんでくる」（寺本松野）ことを伝えるかが大きな課題です。なお、学生は心理については非常に興味があり、心の悩みなどを解説しながら話をするとよく聞きます。私の講義で一番学生の反応が大きかったのは、「生きづらさ」に関するものでした。それだけ苦しんでいる学生が多かったからです。聖書という言葉は、この授業の際に大きな励ましになりました。 (大学)

◇教職員も学生も、忙しすぎる状況なので難しいのですが、このような状況だからこそ、立ち止まるひと時を確保して、いのちのこと、平和のことをともに考え、祈る時間が必要だと考えています。 (大学)

◆次のコメントは長崎市の活水高等学校 活水中学校から寄せられました。

1945.8.9.の被爆当時は、現在は諫早にあります同盟校の鎮西学院が建っていましたが、被爆跡を本学が譲り受けることとなり、爆風で大破した校舎を整備改築して、昭和26年（1951年）8月に竣工、中学・高校を東山手から移転して使いました。

近年の耐震化義務に際しての判断で、残念ながら同校舎は解体となりましたが、校地は変わらず、原爆落下中心地から約500mのところにあります。

ノーベル賞受賞の日本被団協の事務局次長：和田征子さん（鶴見在住）は、本校の卒業生・元英語科教員で、2025年12月1日の本学創立記念式典で講話をいただきました。（式典の件は、被爆・敗戦80年の記念というわけでもないので、アンケート回答欄ではふれてはおりません。）